



2024年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2024年2月9日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

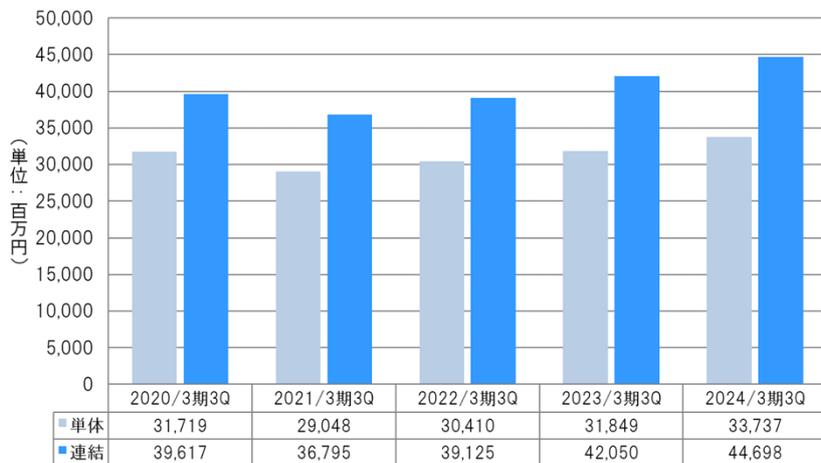
0

目次

02 売上高の推移（単体・連結）	15-22 今後のグループ成長戦略
04 営業利益の推移（単体・連結）	23 カテゴリー別売上比率及び増減
06 経常利益の推移（単体・連結）	24 サステナビリティへの取組
08 純利益の推移（単体・連結）	25 世界7極体制
10 第3四半期 売上高（対前年実績）	
11 第3四半期 営業利益（対前年実績）	〔補足資料〕 決算のポイント
12 第3四半期 単体業績の概要（利益変動要因）	
13 設備投資の推移（連結・単体）	
14 減価償却費の推移（連結・単体）	

1

第3四半期 売上高推移 (単体・連結)

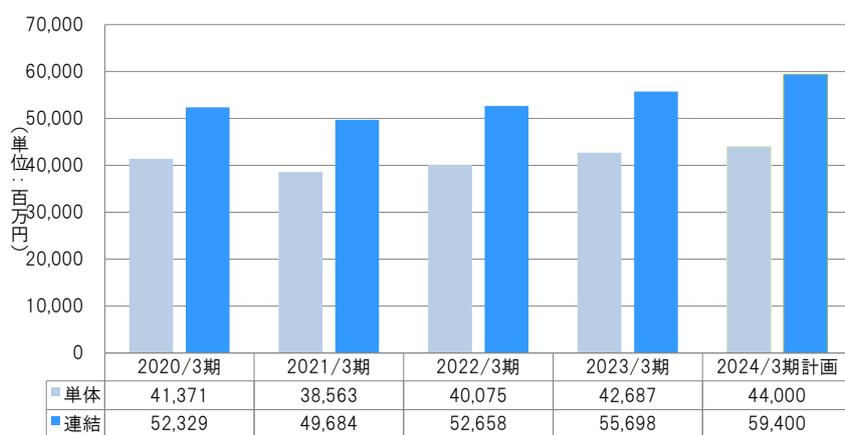


ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2

2

通期 売上高推移 (単体・連結)

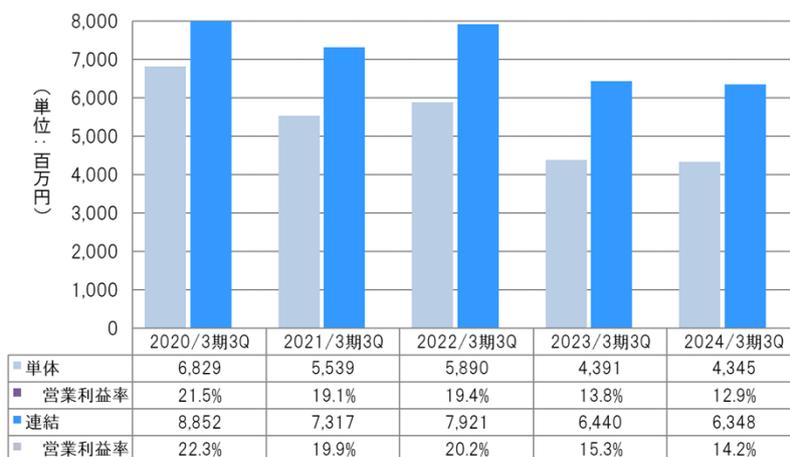


ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

3

3

第3四半期 営業利益の推移（単体・連結）

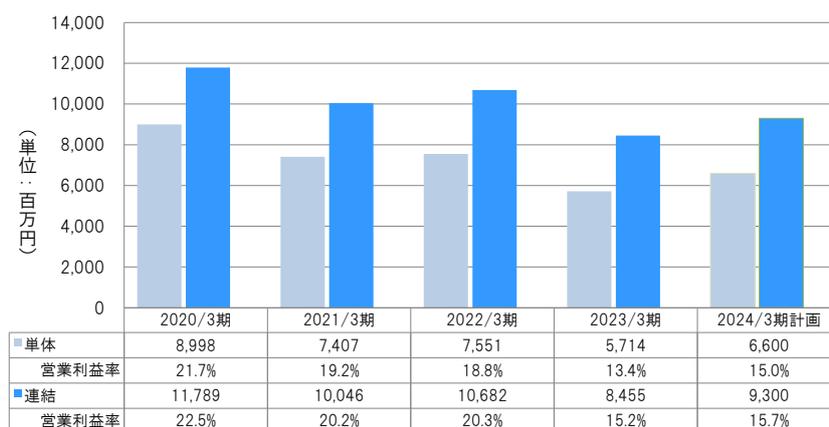


ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

4

4

通期 営業利益の推移（単体・連結）



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

5

5

第3四半期 経常利益の推移（単体・連結）

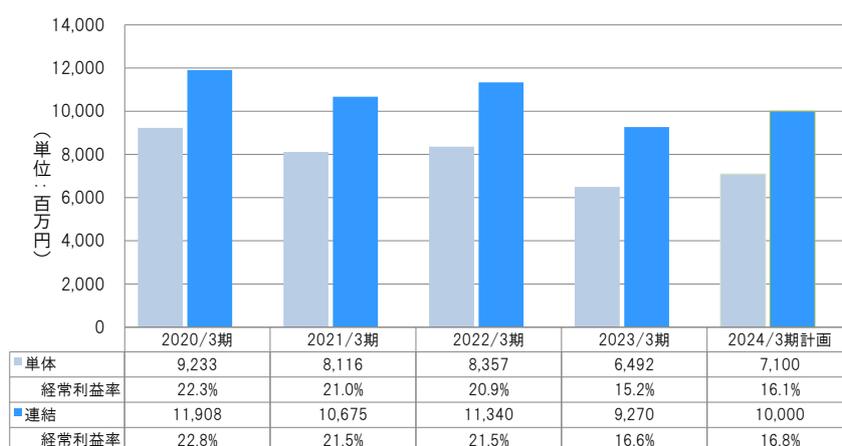


ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

6

6

通期 経常利益の推移（単体・連結）

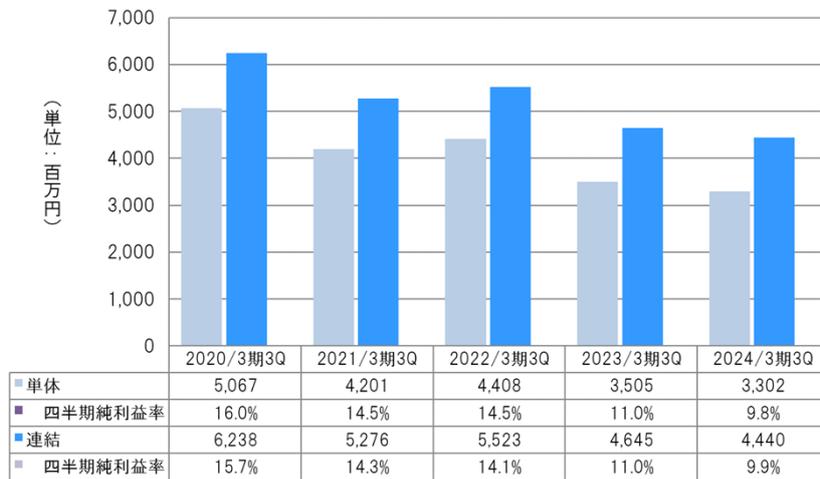


ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

7

7

第3四半期 親会社株主に帰属する 四半期純利益の推移（単体・連結）



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

8

8

通期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

9

9

第3四半期 売上高 (対前年実績)

※子会社は連結調整後

(単位:億円)

	2024/3期 3Q	2023/3期 3Q	増 減		為替中立
アリアケジャパン	337.4	318.5	18.9	5.9%	5.9%
子会社 計 ※	109.6	102.0	7.6	7.4%	3.3%
ア ジ ア	70.7	65.4	5.3	8.0%	7.1%
欧 州	36.6	34.5	2.2	6.3%	-4.2%
日 本	2.3	2.1	0.2	8.3%	8.3%
連結	447.0	420.5	26.5	6.3%	5.3%

(括弧は計画レート)

EUR(141.47)	158.00	142.32	15.68
人民元(19.01)	20.46	20.37	0.09
台湾ドル(4.33)	4.63	4.56	0.07
ルピア(0.0085)	0.0097	0.0095	0.0002

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

10

10

第3四半期 営業利益 (対前年実績)

※子会社は連結調整後

(単位:億円)

	2024/3期 3Q	2023/3期 3Q	増 減		為替中立
アリアケジャパン	43.4	43.9	△ 0.5	-1.0%	-1.0%
子会社 計 ※	20.0	20.5	△ 0.5	-2.2%	-4.6%
ア ジ ア	16.7	15.2	1.5	9.7%	8.7%
欧 州	3.2	5.2	△ 2.0	-37.8%	-44.0%
日 本	0.1	0.1	0.0	0.0%	0.0%
連結	63.5	64.4	△ 0.9	-1.4%	-2.2%

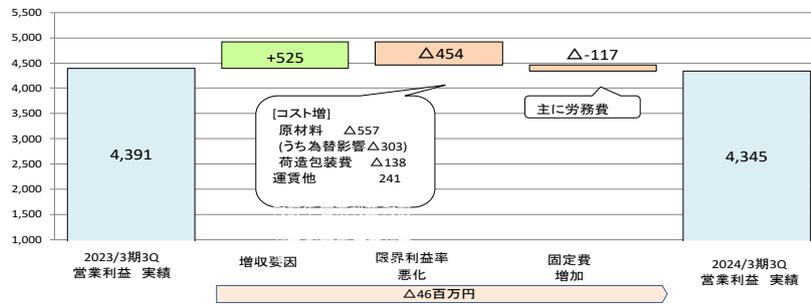
ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

11

11

第3四半期 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 4,344百万円 前年比△46百万円（△1.0%） （単位：百万円）

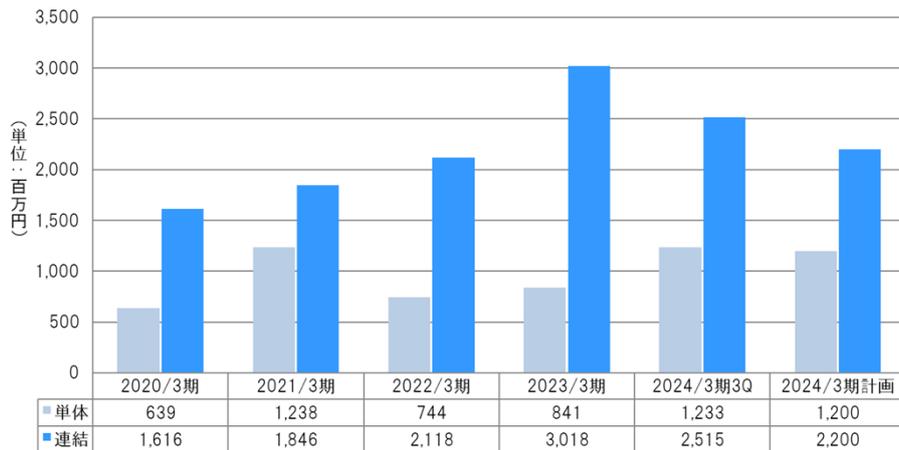


■ 経常利益 4,614百万円 前年比△340百万円（△6.9%）

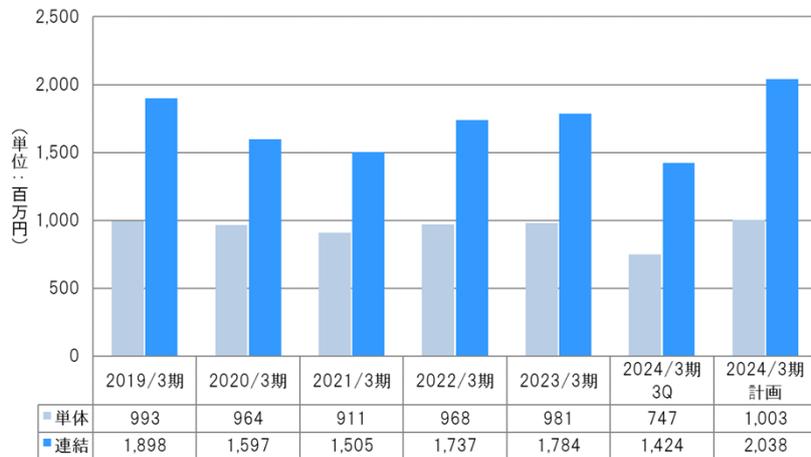
（単位：百万円）

増加要因	金額 (百万円)
為替差益	747
受取配当金等	235
減少要因	金額 (百万円)
営業利益減少	△46
デリバティブ評価損	△1,276
合計	△340

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

14

14

今後のグループ成長戦略

□2030年 連結1000億円売上

- 2023年度約600億円（計画）の売上を2030年度に1000億円へ伸ばします。
- 伸びしろが大きい、海外（特に中国、ベルギー、米国）に注力致します。
- 川上から川下へ、より加工度が高い製品、B2C製品へ拡大致します。

□設備投資

- 中国は調理加工品、米国は新規開発製品の生産設備を増強致します。工場の増設、新設を合わせ、約300億円の投資を想定しております。
- その他海外子会社においても、売上増に対応する設備増強を適宜実施します。
- 国内は売上500億円に対応する設備増強を実施します。

□人的資本

- 海外事業拡大に必要な人材の強化と育成を行います。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

15

15

[ベルギー]UHTブイヨンの販売開始

- ベルギー工場内に25億円を投じ、UHT設備新設及び抽出設備増設しました。
- 100%天然の高品質のUHTストレートチキンブイヨンを製造し、まずフランス国内にて家庭用を中心に販売致します。
- 2023年12月から、カルフルー、モノプリなどのスーパーマーケットで販売開始致しました。
- 販売開始に合わせ、TV、雑誌、SNS等でプロモーション実施中です。
- 同時にB2Bでの拡販を行います。
- UHTブイヨンを中心とした販売戦略により2024年には10億円売上増、2030年度には約100億円の売上を目指しております。

Ariake lance des bouillons de volaille prêts à l'emploi

Le spécialiste japonais des bouillons propose deux recettes au rayon des soupes et des plats prêts à l'emploi.



© Ariake

La gamme compte deux recettes : le bouillon Par, liquide et clarifié, et le bouillon Concentré, de couleur trouble.

Fondée en 1969 par Kiyou Okada, toujours aux commandes de l'entreprise à 91 ans, Ariake est aujourd'hui l'ancien leader de la soupe ramon au Japon. Après avoir lancé en 2010 une gamme de bouillons à infuser naturels (8 références) en collaboration avec le chef étoilé Michel Balthus, puis de soupes riches (2 recettes), la marque s'est ouverte au rayon des soupes en proposant deux bouillons de volaille liquides prêts à l'emploi, pour un usage à boire ou à cuisiner, en brique de 1 litre. Tandis que le bouillon Par est déglacé et clarifié pour préparer un rissoto ou une soupe à l'algues, le bouillon Concentré, de couleur trouble, est idéal pour les plats mijotés et les soupes crémées. "Le bouillon de bouillon est encore très innovant en Asie et difficile de copier. Elle s'est imposée en peu de temps en Europe et en particulier en France où nous sommes chefs les utiliser dans leurs préparations", déclare Laurent Seguin, directeur commercial et marketing pour l'Europe.

Publicité télé

"Comme l'ensemble de nos gammes élaborées par nos deux sites européens d'Alençon, dans l'Orne, et de Mantes-la-Ville, en Belgique, ces bouillons sont préparés à partir de carcasses fraîches de poulet, de canards, de cailles et d'oignons. Les ingrédients sont cuits plusieurs heures avec une pointe de sel (0,25 g ou 100 mg), sans exhausteurs de goût ni colorants", précise le directeur européen. Proposé à un prix de vente indicatif de 2,4 €, le secret réside dans le choix des ingrédients et des ingrédients en quantités précises chez Carrefour et Monoprix. Ce lancement sera accompagné, dès le 20 novembre 2023, par une pub-vidéo, la première pour la marque en France, avec la promesse "avec Ariake, bouillonnez d'inspiration", afin d'illustrer la qualité et la versatilité de la gamme. Face à la concurrence, le marché de bouillon liquide prêts à l'emploi est beaucoup plus développé dans d'autres pays, comme en Espagne où le segment de volume est porté 270 ME, ou aux États-Unis, où l'entreprise 1,3 ME, explique Laurent Seguin. D'autres recettes de bouillon devraient suivre à base de bœuf ou de légumes.

Nouvelle ligne de conditionnement

Pour ce lancement, Ariake Europe (53 ME, 130 salariés) a investi 20 ME dans l'installation d'une ligne de conditionnement en brique au site de son usine belge. Le groupe réalise annuellement 400 ME de CA, employant 1 500 salariés et exploitant 7 usines en Asie et en Europe.

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

16

16

[ベルギー] UHTブイヨン抽出設備

抽出槽



抽出液受槽



濃縮器



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

17

17

[ベルギー] UHTブイオン殺菌・充填設備

UHT (全体)



殺菌機



充填機



自動製函機



パレタイザー



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

18

18

[中国]設備増強と新工場建設

■設備増強

- 中期事業計画2025年度売上高85億円（連結調整前）に対応するために、青島第二工場内に抽出、ろ過、濃縮、充填ラインを増設致しました。
- 充填ラインには、具材充填機を設置し、調理加工品（予製菜）の製造が可能になりました。
- 中国国内の大手流通、外食、EC等を顧客として、調理加工品の販売を行います。

■新工場建設

- 既設青島工場隣接地に新工場を建設予定で現在設計を進行中です。
- 今後急成長すると予想される惣菜市場（予製菜）に日本で長年培ったレトルト製造技術を活用し、参入致します。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

19

19

[中国]青島工場設備増強

- 2025年度売上高85億円に対応 青島工場設備増強



10m3抽出槽



ろ過設備



真空濃縮機



5m3配合槽



具材充填設備 (B2C小型パウチ用)

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

20

20

[米国工場]再進出に向けて

□米国市場への再進出

- 東海岸バージニア州を工場建設候補地を選定致しました。
- 現地法人を設立し、ラボを設置、現地にて試作品を作成し、マーケティングを開始致します。

□B2C参入

- 米国ではB2C事業への参入予定しております。
- 4兆円あるとされる市場をターゲットとして2年間、商品開発を進めて参りました。品質、価格、健康という観点から優位性のある新規商品を投入致します。
- 2番目の柱となるのが、消費者向け最終製品（調理加工品）の製造です。国内で培った、CVS向けビーフシチュー、カレーなどの生産技術をさらに進化させ、利便性を向上させ、かつ品質に優れた製品を製造・販売する計画です。

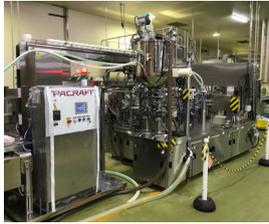
ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

21

21

[アリアケジャパン] 生産設備増強

第二工場 B2C対応具材充填設備



自動パウチ整列機



スプレー式レトルト殺菌機



第二工場 B2B対応充填機（大袋）



第一工場 6m3大型配合槽



急速冷凍庫



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

22

22

[アリアケジャパン]カテゴリー別売上比率及び増減

カテゴリー	売上比率	前年比増減
食品メーカー	20%	+2%
外食	45%	+14%
CVS	35%	+1%
合計	100%	+6%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

23

23

サステナビリティへの取組

- サステナビリティ経営戦略の策定（基本方針、ビジョン、経営方針）、サステナビリティ委員会の設置、マテリアリティ（重要課題）の特定プロセスの整備、マテリアリティの特定及び主要な取組指標KPIの設定などを行い、具体的な取り組み事例とともに、当社ホームページ上に開示致しております。
- 脱炭素にも積極的に取り組み、2021年4月より、九州第一・第二工場で使用する全電力を再生可能エネルギーへ変換、2022年5月より、自家消費型太陽光発電システム（オンサイトPPA）による再生可能エネルギー電気の使用を開始致しました。
- その他、LNG気化器の空温化、ボイラー設備からの廃熱利用、野菜原料の再利用等に取り組み、2022年度は2020年度比57%のCO₂削減を達成致しました。



九州第二工場 自家消費型太陽光発電システム



LNG気化器空温式変換及び冷熱再利用

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

24

24

アリアケグループ「世界7極体制」



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

25

25

- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。

第46期（2023年4月1日から2023年12月31日まで）
第3四半期 決算のポイント（単体）

2024年2月9日

（単位：百万円）

主要資産・負債等

総資産

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(①-②)	2023年3月期③	(①-③)
総資産合計	115,012	108,326	6,686	109,951	5,061

流動資産

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(①-②)	2023年3月期③	(①-③)
流動資産合計	56,972	67,504	-10,532	61,231	-4,259
現金及び預金	34,986	48,270	-13,284	42,724	-7,738
棚卸資産	8,709	8,219	490	8,490	219
受取手形・売掛金	11,262	10,473	789	8,519	2,743

有形固定資産

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(①-②)	2023年3月期③	(①-③)
有形固定資産合計	11,597	11,026	571	11,040	557
償却資産	7,431	6,763	668	6,911	520
土地	4,047	4,047	0	4,047	0
建設仮勘定	119	217	-98	82	37

投資等

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(①-②)	2023年3月期③	(①-③)
投資等合計	46,396	29,745	16,651	37,633	8,763
投資有価証券	26,602	12,590	14,012	20,939	5,663
関係会社株式	12,051	12,051	0	12,051	0
関係会社貸付金	3,230	3,608	-378	3,083	147
子会社出資金	1,147	2,453	-1,305	1,147	0
その他	3,365	406	2,959	412	2,953

資本勘定（株主資本）

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(①-②)	2023年3月期③	(①-③)
純資産合計	100,702	97,735	2,967	99,193	1,509
資本金	7,095	7,095	0	7,095	0
資本剰余金	7,958	7,958	0	7,958	0
利益剰余金	81,128	79,867	1,260	81,075	53
自己株式等	-2,044	-2,042	-2	-2,042	-2
評価・換算差額	7,468	4,848	2,620	5,107	2,361

設備投資・減価償却費

	設備投資					減価償却費		
	単体合計	単体				連結	単体	連結
		第1工場	第2工場	バックセンター	その他			
第41期（2019年3月）	808	164	319	35	291	3,080	993	1,898
第42期（2020年3月）	639	54	557	27	1	1,616	964	1,597
第43期（2021年3月）	1,238	755	463	19	1	1,846	911	1,505
第44期（2022年3月）	744	117	549	66	12	2,118	968	1,737
第45期（2023年3月）	841	96	701	44	0	3,018	981	1,784
第46期第3四半期（2023年12月）	1,233	379	770	77	7	2,515	747	1,424

人員

（単位：人）

	当第3四半期	前期末
男	543	519
女	143	129
計	686	648
臨時（外数）アルバイトを含む	247	259

関係会社業績（連結調整前）

	売上高		営業利益		当期利益		設備投資		減価償却費	
	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期
青島有明食品有限公司	(換算レート)	(@20.46)	(@20.37)							
	千円	238,432	218,395	45,278	45,845	36,582	38,347	15,582	1,762	6,662
	百万円	4,878	4,449	926	934	748	781	319	36	136
台湾有明食品股份有限公司	(換算レート)	(@4.63)	(@4.56)							
	千円	548,332	505,180	150,494	135,922	122,515	108,890	2,565	12,962	25,799
	百万円	2,539	2,304	697	620	567	497	12	59	119
F.P. Natural Ingredients SAS	(換算レート)	(@158.00)	(@142.32)							
	千ユーロ	10,175	9,445	645	915	702	963	738	2,768	566
	百万円	1,608	1,344	102	130	111	137	117	394	89
ARIAKE EUROPE NV	(換算レート)	(@158.00)	(@142.67)							
	千ユーロ	13,466	14,248	-1,226	194	469	2,286	5,125	9,499	1,453
	百万円	2,128	2,028	-194	28	74	325	810	1,352	230
Henningsen Nederland BV	(換算レート)	(@158.00)	(@142.67)							
	千ユーロ	16,257	14,900	3,785	3,765	2,927	2,822	132	193	338
	百万円	2,569	2,121	598	536	462	402	21	27	53
PT. Ariake Europe Indonesia	(換算レート)	(@0.0097)	(@0.0095)							
	百万ルピア	52,365	60,470	7,292	11,323	6,588	10,752		1	5
	百万円	508	574	71	108	64	102	4	11	48

損益計算書関係

品種別売上高

	当第3四半期	前第3四半期	増減	対前年比
売上高	33,737	31,849	1,889	105.9%
液体スープ	2,435	2,485	△50	98.0%
液体調味料	26,835	25,303	1,532	106.1%
粉体調味料	2,923	2,723	200	107.4%
その他	1,544	1,338	207	115.4%

販売費及び一般管理費

	当第3四半期	前第3四半期	増減
販売費及び一般管理費	4,643	4,462	181
(%)	13.76%	14.01%	
販売費	2,786	2,754	33
労務費	830	764	66
固定費	744	668	76
技術開発費	284	277	7

営業利益

	当第3四半期	前第3四半期	増減
営業利益	4,345	4,391	△46
対売上高比(%)	12.88%	13.79%	

営業外損益

	当第3四半期	前第3四半期	増減
営業外損益	270	564	△294
営業外収益	1,554	565	988
配当金	528	503	25
家賃収入	23	24	△0
為替差益	735	-12	748
受取利息	164	13	151
その他	104	39	65
営業外費用	1,284	2	1,282
為替差損	0	0	0
デリバティブ評価損	1,276	0	1,276
その他	8	2	6